

一般質問通告内容

(令和8年定例会9月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
9	水口 光盛 (議席番号 1番)	1. ごみの減量目標の達成と施設管理について (1) 生ごみの減量化とリサイクル率の向上について ① 生ごみの減量目標の達成に向けた、生ごみ堆肥化容器等購入助成の拡大やさらなる普及促進策の検討状況について伺います。 ② プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行により、製品プラスチック等の再資源化が自治体の努力義務となったが、燃料ごみと燃やせるごみに混入しているプラスチック類の分別徹底及び再資源化に向けた検討の進捗状況について伺います。 (2) 登別市との広域処理の継続と最終処分場の管理について ① 本町のごみ処理は、令和21年度までクリンクルセンターの施設延命を図り、登別市と共同で広域処理する方針となっているが、今後想定される施設の延命化改修工事等における本町の財政負担の見通しについて伺います。 ② 本町の一般廃棄物最終処分場は、令和5年度に埋立容量の軽微変更を行い、約12年分の埋立容量を確保したが、白老町一般廃棄物処理基本計画の最終年度である令和15年度からわずか2年後に再び残余容量が限界を迎える見通しであることから、埋立量のさらなる削減策や、将来にわたる最終処分先の安定確保に向けた整備計画について伺います。 (3) 環境衛生センター旧焼却炉設備の撤去計画について ① 旧焼却炉設備や煙突の解体撤去に向けた建物の構造調査及びアスベスト含有調査の実施状況と、今後の撤去の進め方について伺います。 ② 多額の費用が見込まれる解体・撤去事業費について、国の補助制度や有利な地方債の活用など、本町の財政負担を軽減するための財源確保の見通しについて伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
9	水口 光盛 (議席番号 1 番)	2. バイオマス燃料化事業の廃止に係る進捗について (1) 未処理生成物の全量処分の完了に向けた進捗と総費用について ①令和3年度時点で約3,000トン存在した未処理生成物について、令和8年度までの全量処理完了に向けた計画が示されていますが、現在の進捗状況を伺います。 ② 未処理生成物の全量処理が完了するまでに要する総費用の見込みについて伺います。 (2) 環境衛生センター等の代替施設としての有効活用策について ① 施設建屋の代替施設としての有効活用策について、現在の検討状況を伺います。 ② 代替施設としての再利用に伴う概算整備費と、今後の財政への影響について伺います。 ③ 代替施設としての有効活用が困難と判断された場合、建屋を解体・撤去し、土地を原状回復して地権者へ返還するために要する概算費用はどの程度と試算されているか伺います。 (3) 施設敷地の権利関係と今後の土地利用について ① 現在、地権者から土地を無償貸借している状況ですが、今後の土地利用に向けた具体的な協議・交渉状況と、今後の見通しについて伺います。 ② 施設建屋の有効活用策によっては、中長期的な施設の安定運営や財産管理の観点から、必要に応じて地権者から土地の購入を検討することも必要だと考えるが見解を伺います。 答弁を求める者 町 長